

# 日本国内の学校における児童生徒の新型コロナウイルス感染状況

感染経路は小学生の73%（1,252人中916人）が「家庭内感染」である一方、高校生は「感染経路不明」が35%（1,224人中431人）と最も多くなっています。学校内感染の割合も小中に比べて高く、複数の感染者が確認された割合も高校が一番高くなっています。

高校生は生活圏が広がり、学校内でも常に先生がそばにいるわけではなく自主的な活動が増えます。その分、自分たちで感染症対策を意識して行動することが必要になります。

<表 児童生徒の感染状況> 6月1日～11月25日までに文部科学省に報告があったもの

児童生徒 (小中高)	感染者数	有症状者数 (※)		感染経路判明						感染経路不明			
				家庭内感染		学校内感染		家庭・学校以外 の活動・交流等				海外からの 帰国	
小学校	1252	434	35%	916	73%	76	6%	132	11%	3	0%	121	10%
中学校	782	411	53%	504	64%	75	10%	61	8%	2	0%	139	18%
高等学校	1224	767	63%	388	32%	293	24%	110	9%	2	0%	431	35%
特別支援学校	45	19	42%	16	36%	1	2%	17	38%	0	0%	11	24%
合計	3303	1631	49%	1824	55%	445	13%	320	10%	7	0%	702	21%

(※) うち重症者は0人  
注：義務教育学校及び中等教育学校については、小学校・中学校・高等学校のうち相当する学校段階に振り分けている。<sup>1</sup>

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(2020.12.3 Ver.5)より

## 基本的な生活様式を再確認しよう!!



自分たちが今できることをしっかりやってみましょう。

感染防止の3つの基本は ①身体的距離の確保 ②マスク着用 ③手洗い です。

登校前の検温も忘れずに!!

## 窓を開けよう!!換気をしよう!!

毎日寒いけれど、教室での20cm常時換気に協力してくれてありがとうございます。

今年も1月25日に学校薬剤師さんに教室の空気検査を実施していただきました。

検査の結果、二酸化炭素濃度の上昇が昨年度までと比較してかなり抑えられていて、換気がしっかりできていると言っていただきました。

昨年度までの閉め切った状態では、2時間授業をすると二酸化炭素濃度が3000ppmまで上昇していました。(基準は1500ppm以下)二酸化炭素濃度が高くなると、眠気におそわれたり頭痛がしたりします。

今回の検査で、教室の前の扉と後ろの窓を常時20cm開放していることで教室の換気がしっかり行われていることがわかりました。これからもこの調子で換気続けましょう。室温が下がって寒過ぎる、体調が悪いなどの場合はすぐに保健室まで知らせてください。

また、換気と同時に教室の加湿器をしっかり稼働させて湿度を保ちましょう。

